



PRESS RELEASE

令和5年10月31日

海上幕僚監部

(お知らせ)

令和5年度海上自衛隊演習（実動演習（共同演習））について

海上自衛隊は、次のとおり令和5年度海上自衛隊演習（実動演習（共同演習））を実施します。

1 目的

- (1) 各級指揮官の戦術判断、部隊運用要領を演練
- (2) 海上自衛隊の任務遂行能力の向上
- (3) 海上自衛隊と米海軍、オーストラリア海空軍、カナダ海空軍及びフィリピン海軍との連携の強化

2 期間

令和5年11月10日（金）～11月20日（月）

3 場所

日本周辺海空域

4 統裁官

自衛艦隊司令官 海将 齋藤 聡（さいとう あきら）

5 参加部隊等

- (1) 海上自衛隊：護衛艦「ひゅうが」他艦艇約15隻
哨戒機「P-1」他航空機約20機
- (2) 米海軍：空母「カール・ヴィンソン」他艦艇約10隻
哨戒機「P-8」他航空機約10機
- (3) オーストラリア海空軍：駆逐艦「ブリスベン」他艦艇1隻
哨戒機「P-8A」航空機1機
- (4) カナダ海空軍：フリゲート艦「バンクーバー」他艦艇2隻
哨戒機「CP-140」航空機1機
- (5) フィリピン海軍：派遣幕僚

6 主要演練項目

各種戦術訓練（対潜戦、対水上戦等）、洋上補給

7 その他

海上自衛隊演習は、昭和29年から実施している海上自衛隊最大の演習となります。本演習において、米海軍とは昭和56年から、カナダ海軍とは平成29年から、オーストラリア海軍とは令和元年から訓練を実施しています。

なお、フィリピン海軍が、オブザーバーとして本演習に参加するのは今回が初めてです。